

4年 社会 自然災害 一問一答（20問） 版D

なまえ： _____

日づけ： _____

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

- (1) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何と
いうか
- (2) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震によ
る災害を何というか
- (3) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何と
いうか
- (4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむい
たりすることを何というか
- (5) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを
何というか
- (6) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
- (7) 大雨のとき、山の土や石が水と一緒になって、いきおいよく谷を流れ
下ることを何というか
- (8) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育
館などを何というか
- (9) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全
な場所を何というか
- (10) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げた
ものを何というか
- (11) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
- (12) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活
動を行う国の組織を何というか
- (13) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出さ
れる、いちばん強い知らせを何というか
- (14) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段
強く出される知らせを何というか
- (15) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の
活動をする組織を何というか
- (16) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ
住むための家を何というか
- (17) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
- (18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習する
ことを何というか
- (19) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつ
くる組織を何というか
- (20) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか
